

平成24年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・**最終**)

呉市立昭和北中学校区 校番24 学校名 呉市立昭和西小学校

a 学校教育目標	ゆたかな心 (ほめる) ～しあわせづくり～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション> (学校の使命) 「行きたい学校, 行かせたい学校」 <ビジョン> (将来の学校像) ○ 児童・教職員が自信と誇りを持てる学校 ○ 環境が整備され, 豊かさと規律ある美しい学校 ○ 保護者, 地域と共に歩み, 信頼される学校
----------	--------------------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	本校は, 経済的にも家庭的にも厳しい状況の家庭が多く, 家庭の教育力の差もあり, 基本的な生活習慣・規範意識が身につけていない児童がいる。西小四原則の中で「挨拶ができる」「時間を守る」は改善されてきたが「返事ができる」「掃除ができる」は, 十分に達成されていない。また, 一斉授業に参加しにくい児童や素直に指導を受け入れにくい児童がおり, 基礎学力の定着が不十分である。運動能力についても十分に身につけていない。保護者連携においても考え方のずれや自己中心的な考えのため円滑に進まない場合もある。本年度, 児童の基礎学力, 基礎運動能力を向上させること, ゆたかな心を育成していくことが, 重要な課題である。
------------------------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	8月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
***	学習規律を定着させ, 基礎学力を確実に身に付けさせる。	○ 学力向上をめざし児童が分かる授業づくり。(貫) ○ 体力・運動能力の向上を図る。(持久力)(貫)	○ 「西小学習パターン」の徹底を図る。 ○ 算数科の授業研究を通して授業改善に取り組む。 ○ 体育の授業の工夫。 ○ 休憩時間の活用。	・算数科, 学期末のテストの平均点 ・体育の時間に持久力を高める運動を取り入れる。	80%	88	88	B	81	81	B
					80%	59	74	C	100	125	A
**	規範意識を身につけさせ, 思いやりの心を育てる。	○ 気持ちの良い挨拶を徹底させる。(貫) ○ 整った学習環境をつくる。	○ 教職員自らが範を示す。(あいさつ, 返事, 時間, 掃除) ○ やり直しを徹底させる。 ○ 異年齢集団を効果的に使い「たてわり掃除」を定着させる。	・「大きな声で返事ができた」児童の割合(児童・教師) ・「自分の掃除で学校が美しくなった」と思う児童の割合	80%	児童 86	108	A	児童 84	105	A
					80%	教職 64	80	B	68	85	B
*	積極的に情報を発信し, 安全で保護者, 地域から信頼される学校にする。	○ 保護者, 地域とのつながりを深める。 ○ 学校と家庭で読書をさせる。	○ 学校便りの発行, 学校ホームページ更新を行い, 学校の考え方, 学校の様子を広報する。 ○ 地域人材を積極的に登用し, 協育を通して信頼関係を築く。 ○ 個々に応じた具体的な読書冊数の目標を立てさせる。 ○ 年間50000冊	・学校だよりを月に1回発行 ・ホームページを週に1回更新 ・各学年で年間1回ゲストティーチャーを招いた取組をする。 ・低学年150冊 中学年100冊 高学年75冊	90%	200	222	A	220	244	A
					90%	300	333	A	386	429	A
					80%	50	63	C	100	125	A
					80%	71	89	B	100	125	A

【k: 評価】
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成) < 100
 C: 60≦(もう少し) < 80 D: (できていない) < 60

平成24年度 結果の分析及び今後の改善策

(中間・最終)

昭和北中学校区 校番24 学校名 呉市立昭和西小学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
確かな学力の定着	○学習規律を定着させ、基礎学力を確実に身に付けさせる。	○学力向上をめざし児童が分かる授業づくり。 (貫)	<ul style="list-style-type: none"> 算数科学年未テストの結果、低学年は高得点であった。 中学年は全体で80点以上であったが、3割未満の児童の底上げが課題である。 各学級でテストの支援をどこまでするのか、学年末テストの実施方法の統一が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「のびっ子タイム」の時間(8時15分～30分)に反復練習を「西風タイム」の時間(水曜日の5校時)に習熟度別学習を継続して実施する。 個別指導を充実させる。 算数科の授業研究の継続と取組の焦点化を図る。 家庭学習の個に応じた計画的な実施を行う。
		○体力・運動能力の向上を図る。 (貫)	<ul style="list-style-type: none"> 本校児童の走力の課題やそれに対する取り組みについて全職員で共通理解し、それぞれの学年に応じた持久走の取組を体育の時間に実践した。 低・中学年…学習の初めに3～5周程度のランニングを行った。 高学年…体育科の持久走の学習において、走るペース等を記録することによって自分の走り方を見直させ、さらに目標を持って主体的に取り組ませた。 「フレッシュタイム」(月・水・金曜日の大休憩に3分間持久走を行う。)の意義を全職員で理解し、積極的に取り組むようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 「フレッシュタイム」の取組を継続して実施する。 定期的持久力を測定し、検証を行う。 持久走の頑張りカードを活用し、成果を評価する場を設定する。
自他の尊重	○規範意識を身につけさせ、思いやりの心を育てる。	○気持ちの良い挨拶を徹底させる。 (貫)	<ul style="list-style-type: none"> 大きな返事ができたことについて「あてはまらない」が全体的に減少しているの、底上げができています。 返事の質が高まってきている。継続した指導の効果で、返事のレベルが上がってきている。 保護者の評価は上がってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任以外の先生も、声かけや評価をしていく。 いろいろな場面で、返事を徹底させる。 上級生の姿を下級生に見せる。また、下級生のよさも評価し、上級生に見せるようにする。
		○整った学習環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 全校児童の92%が、「自分の掃除で学校が美しくなった」と答えている。 高学年の責任の重さは増えている。たてわり班の効果がみられている。 低学年には甘えの部分も出てきている。 6年生が掃除をすることができないときに5年生がリーダーとなったので、次年度に向けての自覚を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後たてわり掃除を継続して取り組んでいくが、そうじ場所、仕事内容の見直し等の改善をしていく。 低学年の甘えの部分改善していく。 学校行事や学習、運動等で、たてわり班を活用していく。
協育	○積極的に情報を発信し、安全で保護者、地域から信頼される学校にする。	○保護者、地域とのつながりを深める。	<ul style="list-style-type: none"> 1月末までに、学校便りは22号発行、学校ホームページは170回更新した。 ゲストティーチャーを招いた取組を全学級で実施した。 1年…栄養教諭(食育)、2年…高尾神社(生活科) 3年…大崎上島・山清青果の社長(社会科) 4年…女性会・八寸(総合的な学習)、歯磨き指導(学活) 5・6年…防犯教室(学活) 6年…防犯教室(学活)、租税教室(社会科) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、学校便り月に1回以上、学校ホームページを週に1回以上更新していく。 ゲストティーチャーを招く取組を継続して実施する。 ゲストティーチャーのネットワークを広げていく。 教科との関連を考えながら人材開発をしていく。
		○学校と家庭で読書をさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの学級で読書冊数が目標に達することができた。 低学年…読書カードに綴じる。絵本が多いので冊数が増える。 中学年…広がりに課題がある。購入した本を学年間でローテーションしている。 高学年…個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度のように、読書祭りなど委員会を軸にして読書活動に取り組んでいく。 読み聞かせ・ブックトーク・アニメーションなどを取り入れる。 図書室と学習室を有効活用し、低学年から色々な本を読むための環境づくりをしていく。

平成24年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

昭和中中学校区 校番24 学校名 呉市立昭和西小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標、理念は校是としての不易の実践で適切である。 ・ 校長を中心に、教職員・保護者・地域住民がベクトルを合わせて取組を進めている。 ・ 「西小四原則」と学習面、体力づくりに積極的に取り組み、適切に評価されている。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方策は欲張らないで焦点を絞り、ゆとりを持って取り組んでもらいたい。 ・ やり直しの徹底とか「たてわり掃除」の定着、読書冊数等、具体的でよい。 ・ 「西小学習パターン」の徹底と異年齢集団の「たてわり掃除」の定着、学校通信の発行等で思いやりの感じられる方策である。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの取り方等、微妙な問題もあるが、適切に分析されている。 ・ 成果主義に振り回されないで、のびのびした教育活動ができるような工夫と配慮が望まれる。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的な改善策が立案されている。 ・ きめ細かくあたたかい方策が設定されている。 ・ 問題や課題が多い中、欲張らないでゆとりを持ち、感動と感化を与えられる実践を望んでいる。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 充実した教育活動が、バランスよく工夫されている。 ・ ゆとりを持って、根気強く実践されたい。 ・ 保護者・地域住民からの理不尽な要求・誹謗・中傷に対しては、関係者と協議し毅然と対応すること。 ・ 「西風通信」は、広報として最適である。 ・ 「フレッシュタイム」で全児童が運動場いっぱい歓声を上げて一生懸命に走ったり友達を応援したりしている姿に胸が熱くなった。 ・ 交通ルールを守り、元気に挨拶を交わしグループで仲良く登校している。 ・ 学校生活や家庭生活の中で、少しずつ危機管理能力を身に付けさせてもらいたい。 ・ 先生が率先して立ち止まって挨拶するので好感がもてる。 ・ 大きな声で挨拶ができる児童が増えた。 ・ 「たてわり掃除」で6年生のリーダーシップが発揮されていることはとても良いことである。 ・ 子育て中の親は、心にゆとりがなく日々の生活の中でほめることが少ないので、小さな事でも見つけてほめてもらいたい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標達成のための方策と指標については、今後焦点を絞るための見直しを図り、次年度に向けて適切なものにしていく。 ・ 「のびっ子タイム」の時間(8時15分～30分)に反復練習を「西風タイム」の時間(水曜日の5校時)に習熟度別学習を継続して実施する。 ・ 「フレッシュタイム」の取組を継続して実施する。 ・ 今年度のように、読書祭りなど委員会を軸にして読書活動に取り組んでいく。 ・ 今後も「たてわり掃除」を継続して取り組んでいくが、そうじ場所、仕事内容の見直し等の改善を図っていく。
--------------------	---